

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	1776410
園名	足立つばめ幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

食べられる草花、作物を育て。子どもに世話をしてもらい、観察し子どもたち自身の気づき、好奇心、探求心を深める。

<テーマの設定理由>

足立区の趣旨に基づき、食育を重視して食べられる草花の育成、観察を考えた。

2. 活動スケジュール

幼稚園の二坪ほどの空き地で菜の花を育てるため、土を入れ花壇作りをする。今の空き地は荒地で川砂なので腐葉土に変えるため、土や道具を準備し子どもたちが花壇作りをする環境を整える。

11月に菜の花の種をまく。こんなに小さな種から大きな草花に最長するということを伝え、子どもたちの興味関心を深めていく。

12月、1月、2月、3月と菜の花の芽や花の観察をする。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

園庭の空き地の土は粘土質が強かったため、腐葉土に変えられず、花壇に変更した。区からいただいた小松菜の種も菜の花と共にまいて、違いを観察させた。

種が雨に流されたのか、とりに食べられたためか、生育も少なかった。抜かれおられた菜の花に添え木をして復活させたところを子どもに見せた。

また、いちごの苗を30くらい植えた。冬を越すのに半分になった。しかし、残ったいちごの収穫が期待できる。ランナーがあるので成育して株を増やし、来年は大量の育成を期待したい。

- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

土いじりや観察をしながら、

「菜の花ができれば食べられるんだよ。」

「すご〜い」と興味深々でした。

どんどん成長していくのを観て、

「小さい種だったのにね。」「葉っぱがどんどんでてきたね。」などの感動の声が上がった。

菜の花が抜かれて、添え木をしたのち復活した時も

「命が助かったね。」「うれしいね。」などの声がありました。

子どもたちは収穫の時期を待ち望んでいます。

4. 振り返り

子どもたちと菜の花の成長を写真や電子黒板を利用し見せ、伝えていった。

菜の花の実際を電子黒板で見たり、成長を観察する中で、小さな種から大きく成長する姿に感動し、さらに食べられる期待感も増したと思う。

いちごの苗も植えたことで白い花は可憐で赤い実も可愛いのでさらに期待感が強まり、いちごの収穫を楽しみにしている。

また、じゃがいも、さつまいも他、お泊り保育でスイカ割りが毎年行われているので、すいかを育ててみたいと子どもたちに伝え、喜び、来年度の活動を今から心待ちにしている。

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちは土いじりにも興味を示し、一人一人が主体的に活動する中で、草花を植え、育てていくことの喜びを感じることができた。